快 光 院 だより

令和８年晩秋　第１３９号

浄土宗
Jodo Shu
Buddhist Denomination

十日十夜法要(婦人会法要併修)のご案内

１１月２７日(金)午後１時半より法要
法要終了後、ライブシアター（１時間ほど）

・法要ではこの１年間の新亡の御霊を追悼いたします。婦人会となっておりますが、男性の方ももちろんご参詣いただける法要です。

・終了後にはこの十夜の季節に作る十夜粥がふるまわれます。

ライブシアター　「法然上人一代記」

～浄土宗の開祖“法然上人”のご生涯を描いた作品～

映像と音楽が流れる中、九州の浄土宗僧侶有志がセリフをリアルに話しながら、法然上人のご生涯を再現します。総勢10名近くの僧侶で行われます。

この機縁にぜひお参りください。

至心称名　南無阿弥陀仏

晩秋に入りました。まだ朝晩、日中に爽やかな日、時にはむし暑い日もあり安定した深い秋の訪れを感じませんが、それでもよい季節でしょう。如何お過ごしでしょうか。夏季は国内外で大きな災害が頻発し、いまだにその復旧にご苦労なされ、明日先々への生活の不安がつきまとう日々お過ごしの御事と拝察申し上げます。

お寺も日常の寺務、法務など至信が精力的に勤めてくれている傍ら僧侶としてまだ青年故なおのこと宗派内外の修行、修学など身に付けねばならぬこと多く有ります。それ故に数日お寺を留守すること出て参りますが、その都度対処出来るよう勤めて参りますので何卒皆様方のご理解、御協力のほど御願い申し上げます。

秋が深まり紅葉、銀杏葉など美しい頃ですが京都市左京区に永観堂（正式には浄土宗西山禅林寺派の総本山で禅林寺と称す）が在ります。南禅寺北手の永観堂町に位置し紅葉の名所でも有名です。ここの本堂に祀られる阿弥陀如来様は珍しい姿をされています。普通如来様は正面を向いておられますがこの仏様は面部が“あっち向いてほい”の様に左後方です。みかえり阿弥陀仏といい永観堂第七世の永観上人が阿弥陀像の周辺を行道していたとき、阿弥陀像が須弥壇から降りて振り返り「永観おそし」と呼んだという伝承です。承暦年間（1077～1081）に三論宗の永観が七世として入山し念仏道場として栄え、ここから永観堂と呼ばれました。「浄土宗西山禅林寺派」ですが浄土宗快光院が所属する「浄土宗」とは別宗派になります。私も昭和60年代に一度お参りできました。

今日は10月31日(土)、午前11時現在お寺の玄関内で20度、朝からよく晴れ、まだ真っ青な周辺の樹木の葉がそよ風になびいています。今年も残り２ヶ月、振り返れば早いものですが災害頻発が目立ち、忘れること出来ないままに次の災害は明日の我が身の出来事と強く自覚さ

せられます。

まもなく九州でも真冬が到来し昔は温暖な島原と聞きましたが今は少々違い県内の市では寒さ１級の位置にあるかの様に感じます。お寺からのお知らせ、十夜法要などお送りさせて頂きます。どうぞご参詣ください。後筆になりますがご尊体お大事になされてください。

令和八年十一月初旬　　快光院　　永野寶信

「他力本願」　永野至信

自分は努力せず他人まかせにして自分の望み叶えようとするときに他力本願という言葉が使われます。本来の意味はそうではなくて浄土宗にとってとても大事な言葉なのですが、浄土宗のお寺で生まれた私もまた他力本願という言葉を最初に知ったときは本来の意味とは違う意味で理解していました。

本来の意味は、阿弥陀仏の力にすがるのが他力本願です。他の誰でもなく阿弥陀仏に。そして大事なことは“自分ではどうすることもできない”から阿弥陀仏にすがるということです。決して努力を怠るわけではなく、自力ではどうもできないから他力にすがります。浄土宗の者は、この世の命が終わったあとのことは、阿弥陀仏にすべてを任せます。これを他力本願といいます。「他力本願」という言葉は、私たちにとって“心のお守り”のような大切な言葉です。

善導大師・法然上人御身拭式

12 月 25 日（木）午後２時より

快光院本堂にて

「御身拭式」とは

快光院本堂でお祀りしている善導大師と法然上人の御尊像をきれいな布で拭い清める式です。

ご参詣の皆様お一人お一人に布をお渡しして御身拭いを行います。一年に一度の機会ですので、ぜひお参りください。



大晦日 除夜の鐘

12 月 31 日（水）午後 11 時 45 分頃～

快光院鐘撞堂にて

1年間の煩悩を払い、清らかな心で新しい年を迎えましょう。



お寺行事

○12 月 25 日　当寺別時念仏会（午後２時）
　　（善導大師・法然上人御身拭い式）
○12 月 31 日　除夜の鐘（午後 11 時 45 分頃～）
○ １月 18 日　　観音堂御縁日(午後２時)
○ ２月 25 日　　別時念仏会(午後２時)

浄土宗　演暢山　快光院
〒855-0851
長崎県島原市萩原１丁目 1227 番地
電話：0957-62-2742
Fax：　0957-64-6624
Mail：kaikoin.temple@gmail.com
郵便振替：01770-4-92594